

## 伊勢湾貧酸素情報（第6報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

これまで、伊勢湾の底層に広く形成されていた 2 mg/L 以下の貧酸素水塊は消滅しました。今期については、今後、大規模な貧酸素水塊の発生はないものと思われます。

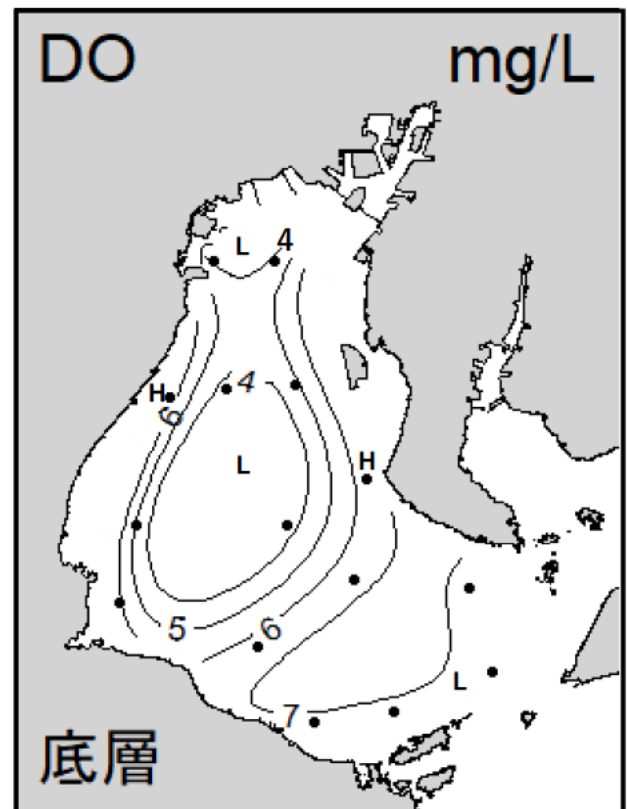
### 1 1 月 1 8 日の調査結果

11 月 18 日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で 18.5 ～ 20.2℃、10m で 19.1～20.1℃、底層で 19.3～22.2℃の範囲にあり、表層、10m 及び底層は平年よりやや高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 6.7 ～ 8.4 mg/L、10m で 6.6～7.0mg/L、底層で 3.5～6.8 mg/L の範囲にあり、表層と 10m は平年よりやや低め、底層は平年並となっていました。

6 月の観測時（6 月 12 日）以来、伊勢湾の底層に広く形成されていた 2 mg/L 以下の貧酸素水塊は消滅していました。

伊勢湾では、海水の上下混合がおりやすい時期を迎えており、今期については、今後、大規模な貧酸素水塊の発生はないものと思われます。



底層貧酸素水塊分布図